

日 時 令和5年11月6日(月) 午前10時00分～11時30分
会 場 燕市民交流センター 3階 多目的ホール
出席委員 石附行子委員、小野塚美鈴委員、田辺美香子委員、田野正則委員、中島純委員、
二平芳信委員、真嶋大輔委員、宮路美也子委員、柳原康浩委員
欠席委員 田公美智子委員、福田智子委員、松井隆司委員、水野晶子委員
事務局 小林教育長、岡部教育次長、石黒社会教育課長、古澤課長補佐、石村係長、
関根主事
報道機関 なし
傍聴者 1名
議 題 協議
・第3次燕市生涯学習推進計画素案(案)について

[以下、会議録(要旨)]

協議

(1) 第3次燕市生涯学習推進計画素案(案)について

・目次について

《事務局説明》

○会長

第2章 燕市における生涯学習の現状と課題、3の「生涯学習を取り巻く社会状況」の「取り巻く」は平仮名のほうがよい。

また、第3章 基本構想、3 計画の体系図とあるが、「計画の体系」のほうがよい。

・第1章 計画の策定にあたって

《事務局説明》

○会長

本文中にいくつか二重鉤括弧(『』)がでてくるが、鉤括弧(「」)のほうがよい。

4 ページ、本文の下にある概念図に「自己学習」とある。学校教育で使われる「協働学習」は生涯学習でも使われるワードになってきているが、教え合い、学び合い、高め合うというもののなので、持続可能なコミュニティづくりに向けた生涯学習という考え方から、「自己学習」とともに位置づけをお願いする。

・第2章 燕市における生涯学習の現状と課題

《事務局説明》

○委員

第2次燕市生涯学習推進計画の評価の中で、芸術文化活動をはじめいずれの項目の中にも「支援」ということが書かれている。

最も気にかかるのは、経済的な援助や補助金である。例えば、公民館講座の謝金の足りない分は受講生が負担していると聞いている。このような中で、市が負担する講師料の増額要望はないのか。もし現在要望がないとしても、公民館講座の講師謝礼や、補助金等の増額等の見通しはあるのか。

○事務局

講座等の講師謝金については、市の負担分と、受益者負担ということで、受講生からのご負担をいただいて謝礼の支払いを行っている。その割合は恐らく、今までの協議の中で決まったものと考えている。

そのほか、文化芸術団体への補助金、助成金については、現在、活動費補助金を行っており、活用されている団体もある。

現状、見直しの予定はないが、今後、社会情勢が大きく変わるなどの場合には関係機関、団体と協議しながら検討する必要があると考えている。

○委員

文化協会では市から補助金をうけ、発表会などを開催しているが、以前、コロナ禍でやむを得ず開催できない状態であるのに、補助金を減額されるということがあった。それはいかがなものか。補助金がなければ、持ち出しが発生することになる。

団体の会員は高齢化してきており、そういった中での補助金の削減はあるのか。やめる団体も出てきている中で、どうやってそれを食い止めるお考えなのか。

○事務局

いま、お話にあった補助金については、事業を行わない場合には交付しないものであり、これは昔から変わっていない。事業に対する補助金は、事業を行った場合にのみ補助金を交付させていただいている。

また、高齢化や、そもそもの人口減で会員数が減っていくという状況は、文化団体、並びにスポーツ団体についても同じような状況があることは承知している。その歯止めとなる対策については、金銭的な支援ということもあるが、活動の周知など、ほかにも様々な支援が考えられるため、ご相談のなかで対応していきたいと考えている。

○委員

活動の中に若者が入ってこない現状がある。そのような中なので、「まちあそび部」などと交流して、若者に先輩たちが頑張っている姿を見てもらいたい。何かの機会にコラボできると良い。

また、文化協会やスポーツ協会、同じ悩みを抱えているので、文化とスポーツのジャンルを超えた交流もできればと思う。

○会長

まちあそび部は活動人口戦略。第2次燕市総合計画から続いている取組で、自然人口の減少はもうどうにもならない部分があるため、活動する人口を増やして、活力あるまちを目指すというコンセプト。そこには、交流が絶対外せない。

その交流という部分を、どのように行政が支援をしていくのかについては、生涯学習の推進に向けて大きな課題になると思う。

○委員

同じサークルで昼と夜の活動があり、お互いの連絡に手間がかかるため、お金や道具を公民館窓口で預かってもらえないか要望したい。

○事務局

トラブル防止の観点もあり、公民館で利用者のお金や物品を預かるということは原則行っていない。活動のお手伝いはさせていただきたいが、ご理解いただきたい。

○委員

9ページの「(3)インターネット活用需要の高まり」の記述内容に、意味が重複している部分があるため、内容を整理したほうがよい。

また、「(1)学習をしていない人の増加」は「(1)学習活動をしている人の減少」の方がよいのではないか。

○事務局

どちらも修正する。

○委員

6ページの「輝くつばめを担う子どもの育成」で「Jack&Bettyプロジェクト」が出てくる箇所があるが、文脈上、「長善館学習塾」でも英語教育を行っているように読めてしまうため、「多様な学習ニーズに応える学習機会の充実」の中の、「子どもたちの国際感覚を高める英語学習」に「Jack&Bettyプロジェクト」を持ってきたほうがよいのでは。

○事務局

「Jack&Bettyプロジェクト」はどちらの項目にも位置付けられている取組であるため、再掲となっているが、表現を調整させていただきたい。

○委員

「輝くつばめを担う子どもの育成」の文中に「促進」が度々出てくるため、別の表現に言い換えたほうがよい。

○事務局
修正する。

○委員
物価高で、なんでも値上がりしている時代、補助金を値上げしていただきたい。

○委員
私たちのサークルには、中等教育学校の生徒さんが1名所属している。発表会でも1名出演予定であり、ダンスも予定されている。いろいろ頑張っているが、まちあそび部のような若い人からは是非新しい風を吹かせていただきたい。

○会長
6 ページに「若者サポートステーション燕サテライト」とあるが、「三条地域」をいれて正式名称にし、さらに、「設置」ではなく「設置するなど」としたほうが、言葉のつながりがよい。
また、11 ページ、SDGs の記述の中で、「国際目標 4」とあるが「国際」は不要であり、「包括的」とあるが「包摂的」。包括的というのは、全体を一つにするという意味で、「包摂的」というのは、多様性と調和するというニュアンスが出る。「公正」も「公平」としたほうがよいのでは。

○事務局
全て修正する。

・第3章 基本構想
《事務局説明》
質疑なし

・第4章 基本計画
《事務局説明》

○会長
19 ページ、「2. 人間性豊かで生きる力がみなぎる子どもの育成」「(2)ふるさと教育の推進」重複した表現がいくつかあるので整理し、「燕ジュニア検定」を入れてはどうか。
またツールという言葉はふさわしくないと思うので検討して欲しい。
22 ページ、「(3)高齢者の学習機会の充実」で「経験を生かせる」とあるが、「生」ではなく活力の「活」のほうがふさわしいと思う。
23 ページ、「人権に関する学習機会の充実」の記述の中で「生き生きとした」とあるが、ひ

らがなにした方がよい。

○委員

QOLという言葉よりも健康寿命のほうが馴染むのではないか。

○事務局

検討する

○委員

20 ページ、グラフの表題「学習ニーズの違い」とあるが、「違い」は不要ではないか。また、グラフがわかりづらいため、整理したほうがよい。

23 ページ、「(3)共生社会・人権に関する学習の推進」の中で LGBT は入れなくてよいか。

○事務局

20 ページ、グラフの表題および内容について修正する。

LGBTを入れるかについては、人権に関する計画策定が今同時に進んでいるため、そちらでの取り扱いを見た中で検討させていただきたい。

○委員

24 ページの、「(5)環境に関する学習活動の推進」で、市に考えてもらいたい事がある。学校における給食残渣の問題で、ものすごい量の残渣を廃棄している。

今の時代、子どもたちに完食を求められないが、栄養摂取量は決められているため、給食センターとしては決められた量を提供しなければならないと考えられる。せめて、残渣を何か有効活用出来ないか。子どもたちの意見では、肥料にするというアイデアがあった。

○事務局

他市町村の事例を含め、研究したい。

・第5章 計画の推進に向けて

《事務局説明》

○会長

「1 計画の推進体制」について、説明文を追加したほうがよい。

また、この図の中で、燕市生涯学習推進協議会と、燕市生涯学習推進本部は、協働という意味で横並びのほうがよい。

第3次燕市生涯学習推進計画素案(案)の承認

(委員の拍手により承認)

その他

- ①今後の策定スケジュールについて
- ②委員の改選について
- ③意見交換

○委員

先ほどの、学校給食の残渣について、大学との連携を活用して研究していただくというの
はどうか。

○委員

学校では GIGA スクール構想で、1人1台ずつ端末が配置されているが、ついていけない先生はいないのか。

○委員

校長会などにおいても、おそらく燕市は他市町村より進んでいるという話をしている。

○会長

新聞でも取り上げられていたが、新潟県は普及率が全国トップとなっている。

閉会